

問 熊出没による登下校時の安全確保についての新たな取り組みは。

答 学校周辺に熊が出没した場合は登下校時に合わせ警察にパトロールを依頼しているほか、教育委員会職員による見守り等対応している。



問 飼い猫の正しい飼い方の啓発と野良猫対策について

答 飼い猫を完全室内飼育にすることは猫同士の感染症のみならず、人畜共通感染症抑制の効果がある。広報で猫の適正飼育に関する効果のある呼びかけをしてはどうか。

問 県動物愛護センターと連携し、適切かつ責任を持った飼い方について、県と市においてそれぞれの役割分担で対応しているが、引き続き広報誌等により周知していく。

本市のいじめの実態把握と早期対応について

問 実態把握と早期発見体制をどのように強化されているか。

答 早期発見・早期対応を図るため、毎月

のいじめ不登校調査のほか、日頃から児童生徒と意思疎通しながら教職員間でも情報共有を密にしている。

未然防止にも力を入れており、各教科や特別活動にいじめ防止の観点を取り入れ、学校全体でいじめのない集団づくりを目指している。近年のネット上のいじめ増加に対し、情報モラル教育や家庭、関係機関との連携をより一層強化し対応する。

保田 直美 議員 (無会派)
質問時間 30分

質問した項目

- 飼い猫の正しい飼い方の啓発と野良猫対策について
- 熊出没による学校・通学路等における安全確保について
- 本市のいじめの実態把握と早期対応について



録画はしていません

問 地域の人手不足解消に向け、市職員の休暇制度改正・兼業制度創設状況は。

答 休暇制度はまず有休取得の向上を目指す。地域活動への参加は有意義と考えるため、基準を設定し、職員が積極的に参画できるように努める。



質問した項目

- 市職員の働き方改革について
- 熊出没下における子供たちの安全確保について
- 文化財活用地域計画について

問 市職員の働き方改革について

答 一部自治体での先行事例もある週休3日制だが、多様な働き方を可能とすることで職員のキャリア形成や職務遂行力の向上を図るため、同制度導入について市の考えを伺う。

問 導入した場合、勤務時間が長くなることによる健康への影響や、配置部署によって選択できない場合もあり不公平感が生じるなどの懸念があることから、まずは先行事例

について情報収集していく。

問 文化財活用地域計画について

答 厳しい財政状況の中、収入増が課題と考える。文化財活用と考える。文化財活用地域計画策定を契機に本市が誇る文化財の魅力を上させ、観光や他産業と連携しながら外貨獲得による収入増を図るべき。そのためには組織改編が必要と考えるが、市の見解を伺う。

問 来年度からの後期基本計画では「世界遺産のまちを活かす」経営戦略へ発展させることとしており、旧来の文化財の保存に加え活用、誘客を担う部署との連携強化が不可欠と考えている。

赤坂 勲 議員 (新時代かづの)
質問時間 30分



録画はしていません